

当面の病床機能転換等の一覧（和歌山保健医療圏構想区域）

資料 1 - 2

No.	医療機関名	今後の役割・方向性 令和4年 4月～5月 「2025年に向けた対応方針アンケート」より	機能転換等の内容 (一般病床・療養病床)		転換等の時期 (見込)
1	社会医療法人スミヤ 角谷整形外科病院	【C】地域密着型 (軽症患者の救急受入、急性期病院からの転院受入、在宅復帰へ向けた医療など)	廃止	急性期病床 10 床を廃止 ＜廃止後の機能別病床数＞ 急性期 60 床 (▲10 床)	令和 7 年 1 0 月
2	海南医療センター	【B】救急拠点型 (年間100件以上の入院を要する救急患者受入れ)	廃止	高度急性期病床 4 床を廃止 ＜廃止後の機能別病床数＞ 高度急性期 4 床 (▲4 床) 急性期 142 床	令和 7 年 1 0 月
3	医療法人喜望会 笠松病院	【D】療養病床を有する医療機関	廃止	慢性期病床 2 床を廃止 ＜廃止後の機能別病床数＞ 慢性期 45 床 (▲2 床)	令和 7 年 1 0 月
4	西本内科外科医院	【C】地域密着型 (軽症患者の救急受入、急性期病院からの転院受入、在宅復帰へ向けた医療など)	廃止	慢性期病床 8 床を廃止 ＜廃止後の機能別病床数＞ 慢性期 11 床 (▲8 床)	令和 7 年 1 2 月

単独病床機能再編計画

医療機関名

角谷整形外科病院

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年6月）				④ 病床機能再編後（令和7年10月以降）			
	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期	2	急性期一般入院基本料	70	70					2	急性期一般入院基本料	70	75%	2	急性期一般入院基本料	60	60
回復期																
慢性期																
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—	—	—	—	—
計 (一般病床+療養病床)		—				—				—				—		
変更の概要																

（①注） 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病床数」は病院のみ記入する。

（②注） 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

（③注） 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

当院における現在の病床の状況、再編理由、 構想区域の現状・課題など 【詳細】

当院は、整形外科を中心とした標榜を掲げ、特に脊椎脊髄疾患等の手術治療について、和歌山県並びに近畿地域で上位に位置する急性期病床を70床を有する病院です。
このような中で、次の観点から病床を見直しに取り組んでいきたい。

- 第1 建物の構造上の問題点の解消
- 第2 病床・病室管理等の運営面での強化
- 第3 効率的な看護配置の促進



病床機能再編後の当院の体制・あり方

和歌山県が推進する地域医療構想に沿って、当院における非稼働病床を削減していく予定です。将来的には法人全体の病床見直しも視野に入れ、現状の病院の総点検をしながら、効率的な病院運営を図って行くため、病床を10床を削減していきたい。

【様式】病床機能の転換・病床数の変更等について

医療機関名

海南医療センター

現在の病床機能【概要】 <令和7年6月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期	1	ハイケアユニット1	8	23.3%
急性期	3	急性期一般入院料2	142	68.8%
回復期	0	-	0	-
慢性期	0	-	0	-
計	4	-	150	-
病床稼働率（病院全体） 令和7年6月（月平均）66.3% 令和6年度（年間）72.4%、令和5年度（年間）72.4% 病床稼働率（高度急性期病床） 令和6年度（年間）36.8%。令和5年度（年間）55.3%				



今後の病床機能 <令和7年10月以降>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	(定員)
高度急性期	1	ハイケアユニット1	4	
急性期	3	急性期一般入院料2	142	
回復期	0		0	
慢性期	0		0	
介護医療院	0		0	
計	4	-	146	
(機能転換・病床数変更等の概要) 高度急性期病床4床の廃止				

現在の病床機能【詳細】	
平成25年3月の病院の新築移転時は、3病棟150床であったが、平成27年度中に5階病棟の一部を改修し、ハイケアユニット8床を開設した。 ハイケアユニットの入室対象の患者数が限定的であり、かつ対応可能な看護師配置の問題からハイケアユニットの稼働状況は、現在までほとんどの期間で4床以下となっており、患者動向を考慮しても今後の8床運用が難しい状況である。	
現在の病床機能 HCU病棟 高度急性期 8床 5階病棟 急性期 43床 4階病棟 急性期 51床 3階病棟 急性期 48床 計150床	



機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方
病床の減少後も、これまで同様に中等症以上の入院受入や手術とともに、今後需要が増加すると思われる高齢者救急など、海南・海草地域の救急医療に対応していく。

【様式】病床機能の転換・病床数の変更等について

医療機関名

医療法人喜望会 笠松病院

現在の病床機能【概要】 <令和 07 年 06 月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期				
急性期				
回復期				
慢性期	1	療養病棟入院基本料2	47	89.8%
計	1	—	47	—
(備考)				



今後の病床機能 <令和 07 年 10 月以降>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	(定員)
高度急性期				
急性期				
回復期				
慢性期	1	療養病棟入院基本料1	45	
介護医療院				
計	1	—	45	
(機能転換・病床数変更等の概要)				
医療療養病床47床のうち2床を廃止				

現在の病床機能【詳細】
<p>2021年02月開催の当会議にて介護療養病床15床を医療療養病床へ転換することへの承認を得、同年04月より医療療養病床計47床へと転換。</p> <p>現在は海南・海草地域における、長期にわたり療養が必要な方のための慢性期の医療療養型病院としての役割を担っている。</p>



機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方
<p>海南海草地域における地域住民の高齢化及び人口減少、また年々当院の病床を埋めることが難しくなっている実情を踏まえたうえ、将来における病院の収益の安定化及び、地域の人口推移に見合う形にするためにも病床を削減したい方向です。</p> <p>また病床削減後もこれまでと同様に慢性期の病院としての役割を担っていく所存です。</p>

単独病床機能再編計画

医療機関名

西本内科外科医院

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年6月）				④ 病床機能再編後（令和7年12月以降）			
	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期																
回復期																
慢性期	1	有床診療所基本 3	19	15					1	有床診療所基本 3	19	10	1	有床診療所基本 3	11	11
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—	—	—	—	—
計 (一般病床+療養病床)	1	—	19	15		—				—				—		
変更の概要																

（①注） 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病棟数」は病院のみ記入する。

（②注） 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

（③注） 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

当院における現在の病床の状況、再編理由、 構想区域の現状・課題など 【詳細】

19床の慢性期有床診療所として稼働しておりますが、入院患者の減少、職員の高齢化、退職により病床の維持が困難となっております。



病床機能再編後の当院の体制・あり方

今後も慢性期有床診療所としての機能を維持するため、病床数を削減し、より精度の高い治療に対応できる体制にしたいと考えております。